

デイサービスあつた 2020 年度 保護者向け自己評価アンケート結果

1. 放課後等デイサービス自己評価

実施時期	2021年1月5日～2021年1月31日	回答方法	Web上におけるフォームにて匿名回答
回答状況	配布34人、回答27人、回収率79.4%		

<自己評価集計結果>

区分	設問	はい	どちらとも	いいえ	保護者のご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	88.9%		11.1%	配慮が行き届いている。他のデイより、運動するスペースが広く、我が子に合っている。庭もあるのでよい。	
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	92.6%		7.4%	特性を理解して適宜、支援してくれている。	引き続き、基準省令に基づき、適切な人員配置に努めて参ります。運営面も含め、人員の確保に努めて参ります。
③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	51.9%	22.2%	25.9%	バリアフリーではないが、職員が安全管理をしっかりとしているので、不便は感じていない。	引き続き、安心して利用していただけるように、スタッフが介助していきます。
④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか。	96.3%		3.7%	こちらからの提案を真摯に受け止めてくれている。季節感があるプログラム。	日々、ニーズを捉えながら、会議などを通じ、職員全員で考え合っていきます。
⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	92.6%		7.4%	最近は公園やホールでの活動が多いが、我が子に合っているので、このままでも良いと思っている。他のデイではできないような体験ができています。	
⑥	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	88.9%		11.1%	時間が無い時は、電話やメールでも対応して頂いて助かっている。	年度始めだけでなく、適宜説明させていただいております。
⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	88.9%		11.1%	ちょっとした話でも覚えて対応して貰えていると思う。毎回きめ細かく活動内容を教えてもらっている。	コロナ禍ではありますが、電話やメールを入れるなど、丁寧な引継ぎと状況を伝えることを今後も大事にしています。
⑧	保護者に対して面談や、困りごとに対してのアプローチはあるか。	88.9%		11.1%	お迎えの時に話をするなど、工夫してくれている。何かあればすぐに相談にのってもらえる。	直接送迎時や連絡ノートなどで伝えられた思いを懇談などで話し合っています。
⑨	保護者会等の開催等により保護者同士がつながれる機会を設けているか。	18.5%	14.8%	66.7%	コロナで今年は無かったが、今まではあった。コロナ禍において、蜜を避けるためには仕方がないと思う。とてもよい。	
⑩	子どもや保護者からの苦情や意見・要望に対して迅速かつ適切に対応しているか。	88.9%		11.1%		
⑪	おたよりやホームページ等で行事の案内や年間予定、連絡事項の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信しているか。	74.1%		25.9%	わかりやすい。	引き続き、日々子どもたちの姿を写真や、造形での作品を掲示していきます。当法人、すてっぴさぼーとのHPで公表しております。
⑫	個人情報に十分注意をしているか。	100%				引き続き、個人情報の取り扱いには十分に気をつけ、配慮していきます。
⑬	事故防止マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、保護者に周知・説明されているか。	77.8%	22.2%	0%		全体に周知できるよう、説明する機会を都度設けたり、見えるところに掲示するなどの工夫をしたりしていきます。
⑭	定期的に非常災害の発生に備えた定期的防災訓練が行われているか。	48.1%	3.7%	48.1%	活動日、時間も少ないため、仕方がないと思う。	これまで、毎月月末に行って参りましたが、その様子などもお伝えしながら、今後ともりくんでいきます。
⑮	子どもは通所を楽しみにしているか。	100%			毎回とても楽しみにしている。	引き続き、子どもにとって、ほっとで

						きる場所、要求を大事にできる場所づくりを目指していきます。
⑬	事業所の支援に満足しているか。	100%			このままであり続けてほしい。	コロナ禍でこれまでと違った支援も必要に感じるため、一緒に考え合いながら、子どもたちの居場所づくりを引き続き、心掛けていきます。

2. 児童発達支援自己評価

実施時期	2020年12月	回答方法	アンケート用紙での匿名回答
回答状況	配布5人、回答5人、回収率100%		

<自己評価集計結果>

区分	設問	はい	いいえ	どちらとも	わからない	保護者のご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	100%				教室が広くて、子どもがのびのびできていると思う。園庭が広くて、安心して遊べている。	
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	100%				よく理解してくれていると思う。さんぽの日など、とりくみによって職員の数を増やしてもらっているので安心できる。変化した点や声かけで子どもをよく見てくれているなと思う。	
③	生活空間(部屋、トイレ等)は、子どもにとってわかりやすい環境か。	60%		20%	20%	とても分かりやすい。グループの教室に比べて、目立たない気がする。まだ、“自分のクラスがどこで、トイレはここ”といったところは曖昧で、走ってどこにでも行ってしまうので、どこまで分かっているのかが分かりません。	部屋が奥まってしまっているため、わかりにくさがありますが、チャイルドロックを使うなど、入り口、出口をわかりやすくしていきます。
④	生活空間(部屋、トイレ等)は、清潔で心地よく過ごせる環境に整っているか。また、子どもに合わせた空間になっているか。	60%		20%	20%	広くて日当たりが良いのはよいが、やはり少し古いのが気になる。おもちゃを舐めるので、コロナの時期は怖い。部屋はのびのびできて良い。	おもちゃの使用後は、毎回、消毒するようにしています。また、口に入れた後はこまめに拭くようにしていきます。
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか。	100%					
⑥	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	100%				よく子どものことを見てくれていると思う。親の話もしっかりと聞いてもらえて、その上で計画を作成してくれていると思う。	
⑦	保育内容は、子どもたちに合ったものか。	100%					
⑧	契約に関すること、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	100%					
⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	100%					
⑩	保護者に対して面談や、子育てに関する困りごと、相談に対する助言等の支援が行われているか。	100%				いつも丁寧に接してくれている。その都度、質問したら答えてくれている。	
⑪	保護者同士がつながりをもてたり交流ができたりするなど、保護者同士の連携が支援されているか。	60%		20%	20%	同じ立場のお母さんたちと話ができ感謝している。後からクラスに入ったので、先に入ったクラスの保護者の方と何を話せばいいのかわからないので、始めの1,2回は自己紹介や子どものことを話すなど何かガイドがあると良い。	入った時期が違うお子さんも居るので、職員が間に入って交流会などを行う機会も検討していきます。
⑫	子どもや保護者からの苦情や意見・要望に対して迅速かつ適切に対応しているか。	100%					
⑬	定期的におたよりやホームページ、メール等で、行事予定や保育内容、連	100%					

	絡事項に関する情報を保護者に対して発信されているか。					
⑭	個人情報に十分注意をしているか。	100%				
⑮	管理者・児童発達管理責任者は、子どもや保護者にとって、支援や運営などにおいて適切な業務をしているか。	80%		20%		子どもたちや保護者の方に寄添った支援ができるように引き続き、中身づくりを丁寧に行っていきます。
⑬	緊急時対応、事故防止、感染症等におけるマニュアルが策定され、かつ保護者に周知・説明がされているか。	40%		60%		
⑭	非常事態に備えた防災訓練等、災害に対する訓練は行われているか。	20%		80%		月1回の訓練を行い、行った際には保護者の方にも伝えていきます。
⑯	子どもたちは、楽しみに通えているか。	100%				子どもたちや保護者の皆さんの思いやニーズに合った支援を続けていけるよう、職員一同で努力していきます。
⑰	ちゅうりっぷぐみの保育やデイサービスあつたの支援は、子どもたちや保護者のみなさんにとって十分なものか。	100%				

2020年度 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表:2021年 3月

事業所名:デイサービスあつた

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		・利用定員が多い時は、2つにグループを分け、活動内容をプログラム化して配慮しています。	
	2 職員の配置数は適切である。	○		・基準省令に基づいて、適切な人員配置を行うとともに、有資格者を多く配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。		○	・2階への移動は、スタッフが付き添い、また、歩行に不安定さが見られるお子さんには、スタッフが介助しています。	・今後も、老朽化やバリアフリーについては、同センターだけでなく、名古屋市内にも課題を伝え、一緒に考え合っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		・評価をネットで回答ができるように書式を工夫しております。 ・また、出た意見を基に話し合いにつなげています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		・当法人、すてっぷサポートのHPで公表しております。 ・また、多くの方が見える場所に自己評価の結果を掲示しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○			・今年度は、コロナ禍もあり、例年に比べて、研修機会が少なくなりましたが、zoom などを取り入れ、積極的に参加できる環境を整えています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	○		・親御さんが子どもに望むことを聴き取り、子どもたちの要求も大切にしながら、計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	○		・今、楽しいあそびを少しずつ変化させながら、あそびの幅を広げ、工夫しています ・季節よってのプログラムやイベントなどを適宜、取り入れています。	・引き続き、子どもの姿から活動を考えることや、同センター内の職員からの意見ももらいながら活動を考えていきます。
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	○		・長期休暇は開所時間を長くするだけでなく、日々のデイでは体験できないとりくみなども取り入れています	・今年度は、コロナ禍で例年のようなお出かけがあまりできませんでしたが、代わりに、広い園庭を利用し、季節にちなんだ活動を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜、組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している。	○		・登会する時間差も考慮しながら、自分の好きなことであそぶ時間、みんなでとりくむ時間に分けて、メリハリをつけています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○		・必ずしも、全員で打ち合わせができないこともあるので、メモで残すなど、情報を共有できるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○			・引き続き、丁寧に記録を取るとともに、気づいたことなどをスタッフ間で共有していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	○		・基準省令に基づき、行っております。また、個々の状況に応じて、適宜、見直しをしています。	・引き続き、スタッフ間で話し合いをしながら、定期的に見直しの機会を設けていきます。
関係機関や保護者との	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている。	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		・担当者会議に出席できない場合においても、子どもの様子を事前に書面や電話で伝えるなど、工夫しています。	・引き続き、担当者会議に参加する機会を増やすとともに、連携を強化していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	○		・送迎時に、子どもの様子を聞きくことや、また、連絡調整を電話するなど、日ごろから、連携に努めています。	・引き続き、児童連絡会に学校の先生も参加されていることもあり、引き続き、情報の共有を行うとともに、行事などにも積極的に参加していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。	該当なし			

連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	○		・就学児は、同センターと、就学前の子どもは、保育園等と引継ぎ書でもって行っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。		○		・親御さんから進路先はお聞きしているので、必要な場合は、デイサービスでの様子などの情報共有に努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○		・同じ建物内のため、以前、担任していた職員を中心に連携を取っております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。		○	・障がいのないお子さんとの活動の機会はほとんどありませんが、地域の公園や図書館などに行き過ぐすことはあります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している。	○		・熱田区、瑞穂区の連絡会、協議会には参加できるよう体制を整えております。	・参加するだけでなく、実践を出すことも今後の課題になっております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。		○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○			・不明な点についての質問などには、個別でまた対応しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○		・日頃から、連絡ノートや電話、直接送迎時に話をすることを大事にしています。	・コロナ禍で直接ゆっくり話せる機会が減っていますが、その分、電話やメールなども活用し、情報共有していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。		○		・今年度は、コロナ禍なこともあり、お花見やお祭りなどが実施できなかったので、何か違った形での交流を企画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○		・昨年度の意見から、掲示板の活動の写真を掲示、会報を発行するなどしています。	・引き続き、子どもたちの姿を親御さんに伝えられるよう、発信の仕方を工夫していきます。
	35	個人情報に十分注意している。	○		・書類等、保管庫での管理を徹底しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○			・今後も同センターとともに行事を考えていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	○		・感染症が流行しているなどの場合は、メーリングリストで直ちに連絡しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○		・毎月、月末に避難訓練を行うようにしております。	・引き続き、職員の防災意識・知識の向上、子どもの姿から考える防災対策を大事にしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	○			・今後も、事業所内での議論・検討は進めていき、保護者に引き続きも確認していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	○		・親御さんから医師の指示書を契約時にいただき、また、必要に応じて親御さんからの確認も取っています。	・引き続き、誤飲・誤食などが起こらぬよう、スタッフ同士でも配膳時に確認し、また、座席を分けるなどしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○			

2020年度 事業所職員向け 児童発達支援 評価表(公表)

公表:2021年 3月

事業所名: デイサービスあつた

チェック項目		はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境整備等	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・子どもの状況に応じて配置基準以上の職員配置をしています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			・バリアフリーになっていないため、子どもたちに合わせた対応を今後も行っていきます。 ・学齢の子どもたちと同じ部屋を使用しているため、就学前の子に合った環境設定に努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○			
業務改善	5 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者との引継ぎを行ない、職員全体につなげています。	

	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				・当法人、すてっぷサポートのHPで公表しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・自主研修の奨励と費用補助をしています。	・引き続き、実践をもって研修に参加していく機会を増やしていきます。 ・コロナ禍ではありますが、オンラインで参加できる研修などにも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節に合わせてのプログラムやこの時期に経験してもらいたい内容を活動に取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、	○			・毎日のケースで子どもたちの姿を職員同士で出し合い、保育内	

		気付いた点等を共有しているか			容を検討しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・保護者との連絡ノートなどを通じて記録を取っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的に保護者の気持ちや子どもの姿からモニタリングを行い、課題を検討し、計画を作成しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・幼稚園や保育園の担任や主任、園長先生と連携会議を行っています。	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		
	保護	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		

者 へ の 説 明 責 任 等	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか	○				
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○		・保護者会は開催できていないが、父母のつながりのために、交流会などの企画も検討しています。
	34	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月おたよりを発行するとともに、変更などがあれば、すぐに電話やメールなどで保護者にお伝えしています。	・引き続き、定期的におたよりを発行するとともに、日々の支援を分かりやすくお伝えできるよう努めていきます。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・書類等、保管庫での管理を徹底しています。	
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非 常 時 等 の 対 応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				・各種マニュアルの見直しを行ない、周知や説明の仕方を検討していきます。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				・引き続き、職員の防災意識・知識の向上、子どもの姿から考える防災対策を大事にしていきます。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				・今年度は、食物アレルギーのあるお子さんは受け入れていませんが、誤食がないよう、職員間での確認を引き続き、行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

非常時の対応	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				